



フォトレポート

2019 小学校運動会

10月5日に各小学校で運動会が開催されました。好天に恵まれ、絶好の運動会日和となりました。各校とも笑いあり、涙ありの子どもたちの成長を感じるプログラムが満載で、子どもたちが真剣に競技に取り組む姿と、見守る保護者の声援で会場全体が熱気に包まれていました。



仮装コンテスト優勝を喜ぶ参加者



中継地点の消防署前で署員と参加者たち

ハロウィンを満喫

しもつまハロウィン2019 10月26日

10月26日、「さん歩の駅サン・SUNさぬま」でハロウィンイベントが行われ、子どもから大人までさまざまな仮装をした人たちがまちなかがにぎわいました。会場では、仮装コンテスト、お菓子がもらえるゲームコーナー、マントデコレーションのワークショップやフェイスペイント体験が行われ、来場者はイベントを満喫していました。仮装コンテストでは、17組41人が参加。参加者はアニメキャラクターや魔女といった定番の仮装から手作りの映画のキャラクターの姿といった凝った衣装まで、思い思いの格好を披露。仮装姿でステージに立ち、はにかんだりポーズを決めたりする参加者に観客からは拍手が送られ会場は盛り上りをみせていました。

10月26日、今年で3回目を迎えるRUN伴いばらき下妻ルートブロックが砂沼周辺で開催されました。当日は、認知症の人や家族、支援者など約100人が参加して、市道など約10kmをオレンジ色のTシャツのランナーたちが認知症への理解を呼び掛けながら、走りました。

RUN伴いばらきは、認知症に対する理解を深め、認知症の人とその家族を地域で支えあう環境づくりとして県内5ブロックに分け、県西ブロックでは5市町で開催され、参加者が少しずつリレーしながらタスキをつなぎゴールを目指す茨城版のイベントです。

県西ルートブロック長の宇田川真由美さんは「応援してくれる方たちがタスキに署名をしてくれます。点と点がつながり、みんながつながっている感じがします」と微笑みながら話していました。

みんながつながり安心して暮らせるまち

RUN伴いばらき 10月26日

スポーツ & カルチャー

がんばる小・中学生!!

小学生

- 第14回桜川市真壁近隣スポーツ少年団球技大会 <バレーボール> スマイルキッズスポーツ少年団 優勝
- 第6回みのり櫛カップ小学生バレーボール大会 <バレーボール> スマイルキッズスポーツ少年団 優勝

有料広告欄



息を合わせて操法競技をする団員たち

消防団員のチームワークを発揮

10月20日

消防団の消防技術の向上と士気高揚を図る「第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会」が10月20日、古河市中央運動公園で開催され、県西地区の10市町から全10チーム60人の選手が消火活動の確実性や速さなどを披露する競技に臨みました。

この大会は、消防団の消防技術の向上と士気高揚を図り、消防活動の充実に寄与することを目的に毎年行われ、下妻市消防団からは、第3分団が出場し、今年7月から約4か月間の厳しい訓練の成果を存分に発揮しました。

分団長の赤荻秀康さんは「団員が一致団結して全力を出し切ることができました」と充実に満ちた笑顔で団員たちと健闘をたたえていました。



カードゲームを使い意見交換する参加者

未来へつなげる意見交換

空き家対策セミナー 10月6日

10月6日、国交省が定める10月の住生活月間にちなんで住教育推進機構主催の空き家対策セミナー「実家を空き家にしないために」が下妻公民館で開催されました。

セミナーは2部構成で開催され、第1部では一級建築士の須藤直美さん(下妻丁)が講師となり、空き家の現状などの講話がありました。須藤さんは「空き家は他人事でなく自分にもあり得ること。高齢夫婦のみや高齢単身世帯は空き家予備軍と呼ばれているので、元気なうちに家族で家のことを話し合おう」と話していました。

第2部はカードゲームを使った住まいの意見交換会が行われ、参加者らは未来につなげる自分たちの住環境についての意見を交わしていました。



楽しみながら、お茶の説明に聞き入る児童

どきどきお点前、小学生が茶道体験

豊加美小文化芸術体験出前講座 10月24日

子どもたちに茶道の魅力を体験してもらおうと、県の「文化芸術体験出前講座」が24日、豊加美市民センターで開かれ、豊加美小6年生27人が和菓子と抹茶を味わい、日本の伝統文化を堪能しました。

同講座は、児童生徒に優れた文化芸術に触れる機会を提供するとともに、将来の担い手や鑑賞者育成を図るのが目的。講座は、石洲流の鈴木素峰先生たち7人が指導していました。

模範点前では「お茶の前にお菓子を食べる」など茶道の作法についても実践。子どもたち自身も茶わんに抹茶を入れてお茶をたてていました。